



行事やお知らせはコミュニティ放送で

みんなの手で住みよいまちづくり



# こころ豊かな

コミュニティづくり



郷土の歴史についての学習会も

住みよい地域社会を自分たちの手で創ろう——と広見地区では、地区民が一体となって、コミュニティ（近隣社会）づくりをすすめています。

広見地区は、昭和53、54年の2年間、県からコミュニティ活動推進のモデル地区として指定されました。

この間、コミュニティセンターの設置、広見コミュニティ放送の開局、地域団体の組織の見直しなどが計られ、県下のモデル地区として活動してきました。

今年度は、地区社会教育推進会や連合町内会などの組織を一体化した、広見コミュニティ推進会が、11部門に分かれコミュニティ活動をすすめています。

“コミュニティ活動、すなわち住民自治活動を積極的にすすめている、広見地区を今回はご紹介します。



敬老会に参加した孫の演技に思わずにっこり



「おじいちゃん、おばあちゃんいつまでも元気でいてね」と広見小の生徒



渡辺市長から辞令を受ける大石さん

## 西部浄化センターで1日所長

下水道促進デーの9月10日、田子浦地区婦人会長 志村ため子さんと富士南地区婦人会長 大石米子さんが、西部浄化センターの1日所長、副所長に任命されました。

志村さんと大石さんは、渡辺市長から辞令交付されたあと、同センター職員に「安全対策に意を用いていただき、労働災害を起さないように……」と訓示、その後施設の巡視などを行いました。





地域住民が総参加の富士まつりは連帯感の高揚にもってこい



コミュニティってなんぞや？まず学習会から

# 地域社会を

を進める広見地区



地区体育祭も12回目を迎える

広見コミュニティ推進  
会々長、遠藤松吉さんに  
聞いてみました。

ひとこと  
インタビュー

——「コミュニティづく  
り」という言葉がよく使  
われますが、広見地区と  
してはどのようなとらえ  
方をしていますか。

遠藤 その地域に住  
んでいる人たちが、地域  
における問題は、自分たち自らが解決してゆく  
という住民自治の意識をもつ、これがコミュニ  
ティの基本的な考え方では……。

—— コミュニティ推進会の特徴は

遠藤 どの地区でも同じですが、地区には  
多くの地域団体がありますね、しかし、それを  
構成する人たちや受け入れるのは同じ人です。

そこで、それぞれの団体を統合し組織を一本  
化したことですね。

—— どのようにコミュニティづくりを進める  
のですか。

遠藤 まず、何よりも大切なことは、「自分  
たちの地域は、自分たちの力で創る」という  
住民自治意識を高めることです。それには「住  
民憲章」の制定なども必要では……。



## 斉藤建設大臣が視察

郷土、富士市出身の斉藤建設大臣  
が、9月8日、富士・富士宮市・芝  
川町を行政視察しました。

斉藤建設大臣は、市役所で2市1  
町の陳情を受けたあと、潤井川の河  
川改修、大沢崩、富士川橋、富士海  
岸、沼津バイパスなどを視察。

視察には建設大臣のほか、建設省

から河川局長、中部地方局長などと  
地元関係者が同行。富士海岸では、  
渡辺市長から海岸侵食防止工事の進  
捗状況の説明を受けました。同海岸  
の侵食防止は、建設省が41年から約  
32億円の巨費を投じて堤防を築いて  
おり、渡辺市長は災害防止面から早  
期完成を要請しました。



海岸侵食防止工事の説明を受ける  
斉藤建設大臣（中央）